

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H29.05.12

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に**和歌山市立有功小学校1、2年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所からは流水調整課課長他3名の職員が対応し、館内及び魚道の見学案内をいたしました。

気持ちの良い晴天の中、魚道観察室ではアユの遡上やウナギなどが見られ、また前日に降った雨で紀の川の流量が多く、水が流れる迫力ある音を聞くこともでき、皆さんに満面の笑みがこぼれました。

紀の川や紀の川大堰の役割について学び、先生方からも「身近にある構造物がこんな役割をもっていたなんて初めて知りました」といった驚きの声をいただきました。

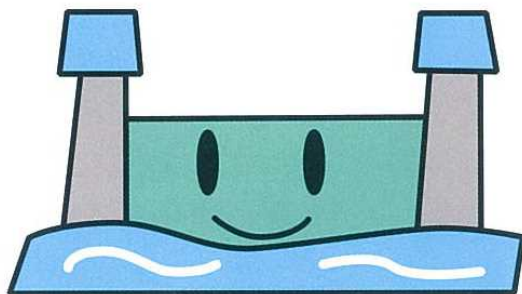
団体見学概要

日 時： 平成29年5月10日(水)
9:30 ~ 12:45

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：113名(生徒107名、先生6名)

団体名： 和歌山市立有功小学校1、2年生



1. 紀の川大堰概要説明

紀の川の話や紀の川大堰の目的や役割について、スライドを用いて職員が説明しました。

集中して話を聞いている様子



2. 館内の見学

3階展望台では、紀の川大堰と対岸の街が一望できます。

「わぁ、ぼくたちの小学校が見えているよ!」



3. 館外の魚道見学

見て見て!大きな魚がいっぱいいるよ!!



人工河川式魚道を上から
見ている様子

魚道観察室では、銀色に光る7～8cmのアユや、3～4cmのヨシノボリがたくさん泳いでいました。

ガラスと階段式魚道のすき間にある縦長のスペースに、まるまる太った全長50cmほどのウナギが気持ちよさそうにひっついていたので見たときは、皆さんの大歓声で観察室が盛り上がりました。

紀の川大堰の役割

「たくさんのお水をためておくこと」ができる紀の川大堰。ほかにもこんな役割もっています。

- ◆洪水の時に、動くゲートを使って安全に水を流すこと
- ◆海の水と川の水をわけること(潮止堰)
- ◆紀の川を、生き物や自然に優しい川にすること

